

ドキュメンタリー映画『こるはの独唱』上映会

ーフィリピン・ルソン島で自決した音楽学徒・村野弘二をめぐってー

東京音楽学校（現・東京芸大）から学徒出陣し、終戦を知らないままフィリピンで自決した村野弘二（享年22歳）が残した未完のオペラ楽譜とレコードが発見された。
ーそして現代、ある大学生が受継いだ想いとはー



日時：2018年3月25日(日) 16:00～19:00 会場：専修大学神田キャンパス 5号館 4階 542教室

ゲスト：中林敦子（村野弘二 姪）・吉岡雅樹（映画『こるはの独唱』監督）

(1) TBS「千の証言 幻のオペラ」(2015/8放送)

戦後70年目での楽譜発見の経緯と、学徒 村野弘二の略歴、自決した現地での戦争被害者と村野の姪 中林敦子さん（ゲスト）との出会い等を伝えるテレビ番組の上映。

(2) ドキュメンタリー映画「こるはの独唱」上映

日本映画大学4年生の吉岡雅樹監督（ゲスト）が、自分と同年で自決した村野弘二氏を卒業制作のテーマに決め、現地取材を行った作品。伯父の事実を知ろうとする姪の中林敦子さんと、楽譜を読み解こうとする現在の東京藝大の作曲科学生らとの2つの側面から迫る。（↓中林敦子さん／映画「こるはの独唱」）



村 村野は出征前、東京音楽学校（現・東京芸大）で作曲を学び、オペラ《白狐》を作曲する。傑作と周囲から絶賛されつつも、未完のまま学徒出陣でフィリピンに出征し、1945年8月21日、終戦を知らないまま同地で拳銃自決。22歳で人生を閉じた。

当 時21歳だった監督は、自身とほぼ同年齢でオペラという大作に挑戦し、戦争によって挫折を強いられた村野に興味を惹かれ、本作を企画。芸術に没頭する学生としての村野に対する共感と、70年という時代の空白による彼への距離感が、この映画の根底に流れている。

また、当日は村野弘二が入営直前に録音したレコードや東京藝大で再演されたコンサートなど貴重な音源を再生する。

（主催）ブリッジ・フォー・ピース：<http://bridgeforpeace.jp/>

お問い合わせ：<http://bridgeforpeace.jp/inquiry/>